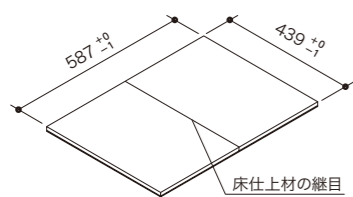


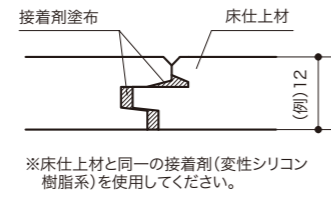
6 ふたの組立

- ① ふた板の取り付けは下図のように行ってください。ふた板の厚みは14.5mm以上必要です。床仕上材が12mm厚の場合は、3mmの厚み調整板(別途)を接着してください。接着剤は接着面全面に塗布して十分な強度を保つようにしてください。

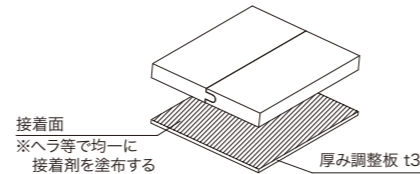
床仕上材(フローリング等)のカット



サネ部の接着



厚み調整板(合板等)の貼り付け

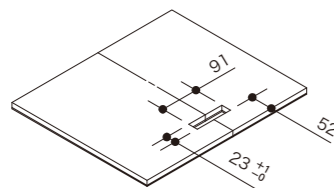


⚠ 注意

❗ お願い

フローリングのサネ部及びふた板と厚み調整板の接着は確実に行ってください。接着不良の場合、音鳴りの原因となります。
必ずふた板の厚みを確保してください。厚みが不十分な場合、製品不良の原因になります。

- ② ふた板に回転取手用の穴加工を行ってください。

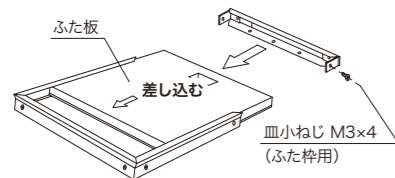


⚠ 注意

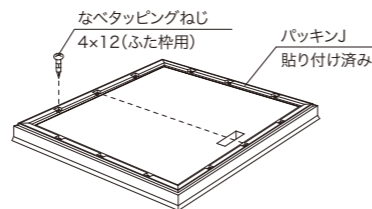
❗ お願い

取手穴は必ず長手方向に加工してください。短手方向に加工すると、補強棧が取り付けられなくなります。

- ③ アルミふた枠の1辺が外れるようになっていきますので、②で作成したふた板を差し込み、取り外したアルミふた枠を側面より2箇所固定してください。



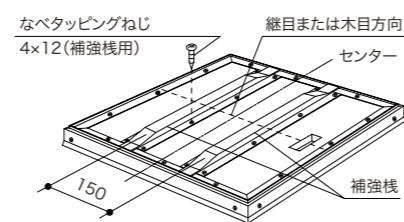
- ④ 枠組みが終わったら、アルミふた枠とふた板をふた板裏面より付属品なのベタタッピングねじで12箇所固定してください。



- ⑤ 補強棧をふた裏面に取り付けます。

❗ お願い

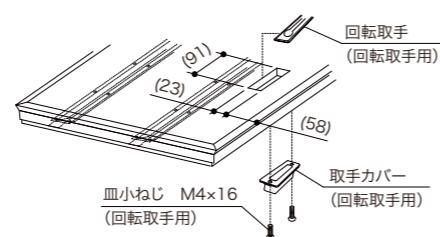
ふた板に継目がある場合は、継目に対して直角に補強棧を取り付けてください。



- ⑥ 回転取手をねじで取り付けます。

❗ お願い

手回しドライバーで固定してください。



お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。



URL <https://www.naka-kogyo.co.jp>



URL <https://www.naka-techno.co.jp>



携帯電話の QR コード読み取り機能により、このコードを読み込むと、弊社アドレス一覧モバイルサイトへアクセス出来ます。

床下収納ユニット 断熱タイプ 900型(深型)

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく施工してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表記の例

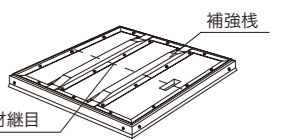
❗ ● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

取付けの前に

⚠ 警告

❗ 必ず実行

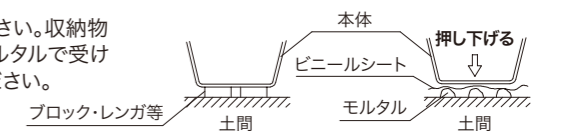
補強棧はふた板の木目に直角に取り付けてください。また、ふた板の床仕上材に継目がある場合には、木目の方向に関係なく継目に対して直角に補強棧を取り付けてください。ふた板の強度が不足すると、開口部に転落してケガをするおそれがあります。



⚠ 注意

❗ 必ず実行

ブロック、レンガ、モルタル等で本体底部を受けてください。収納物の重量で本体が変形するおそれがあります。また、モルタルで受ける場合は、本体との間にビニールシート等を入れてください。

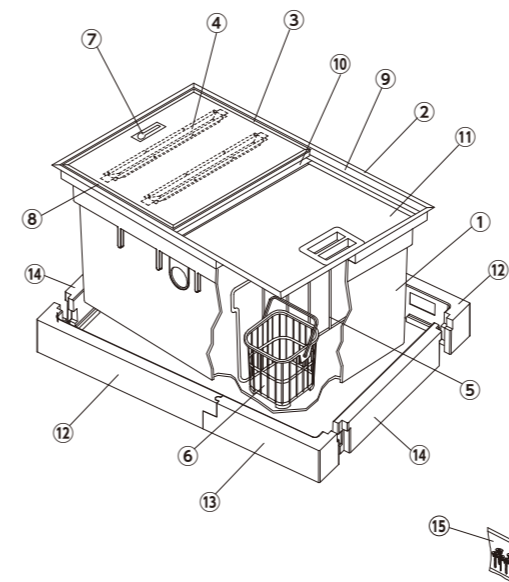


❗ お願い

本体は樹脂製ですので、火気の使用や溶剤の使用に注意してください。



各部の名称



各タイプの部品構成

部品番号	部品名称	数量
①	本体900Y	1
②	アルミ外枠	1
③	アルミふた枠	2
④	補強棧600	4
⑤	仕切板	1
⑥	網カゴ	1
⑦	回転取手・取手カバー	2
⑧	外枠用パッキン ※1	1セット
⑨	ふた枠用パッキン ※2	1セット
⑩	中棧	1
⑪	中蓋断熱材90	2
⑫	補助根太断熱材9K-L	2
⑬	補助根太断熱材9K-S	2
⑭	補助根太断熱材6D	2
⑮	D固定具	6

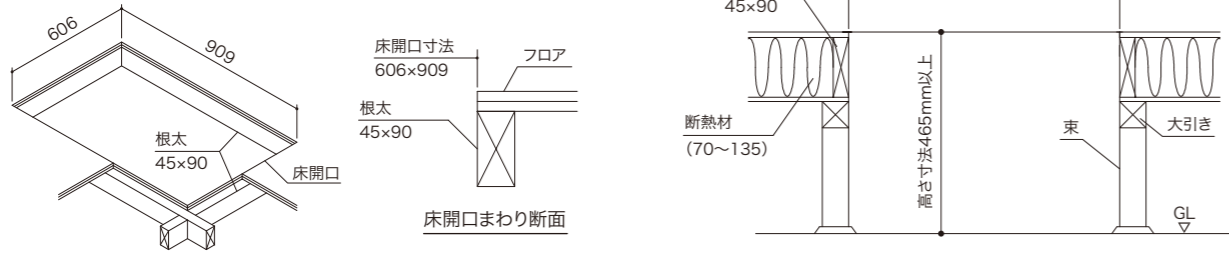
	部品名称	数量
回転取手用	皿小ねじ M4x16	4
外枠用	皿タッピングねじ 4x30	10
ふた枠用	なベタタッピングねじ 4x12	24
	皿小ねじ M3x4	4
補強棧用 ※3	なベタタッピングねじ 4x12	32
D固定具用 ※4	コーススレッドラッパ 3.8x57	6

※1 アルミ外枠に貼り付け済みです。
※2 アルミふた枠に貼り付け済みです。
※3 補強棧包装ポリ袋内に補強棧1本につきねじ8本が同梱されています。
※4 D固定具包装ポリ袋内に同梱されています。

施工方法

1 床の開口

- ① 床に開口部を設け、開口部の周囲に根太(45×90)を取り付けてください。根太は床面からの荷重に耐えられるよう大引き、束の新設をしてください。
- ② 床面から土間までの高さは465mm以上確保してください。

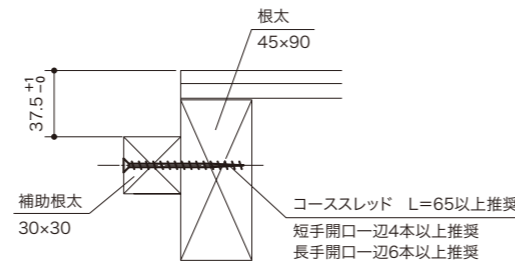


2 補助根太断熱材の取付

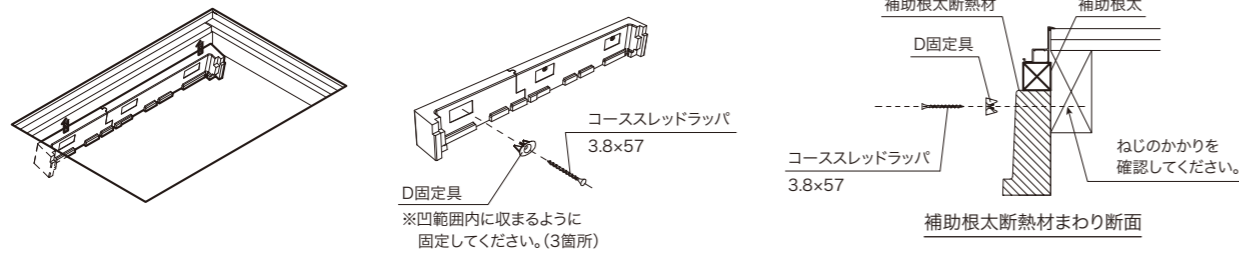
- ① アルミ枠取付用の補助根太(30×30)をフロア面より37.5 ±0.1mmの高さに取り付けてください。

注意

お願い
補助根太の取付高さ寸法は必ず守ってください。取付高さ寸法が違いますと、不良の原因となります。



- ② 補助根太断熱材(9K-L/9K-S)を補助根太に押し当てながらD固定具で固定します。反対側も図と同様に施工してください。

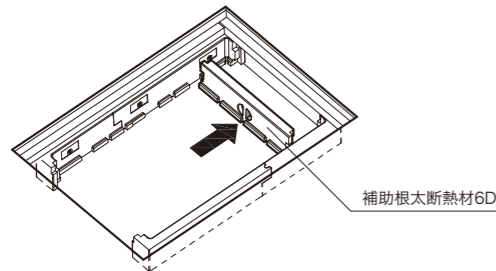


注意

お願い コーススレッドラップを締めすぎないでください。補助根太断熱材が破損するおそれがあります。

正 誤

- ③ 補助根太断熱材(6D)をはめ込みます。反対側も図と同様に施工してください。

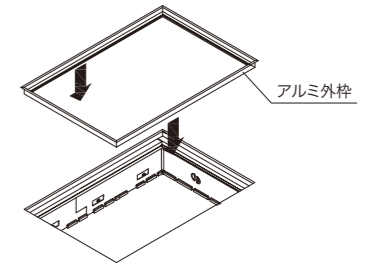


施工方法

3 アルミ外枠の取付

アルミ外枠を開口部にはめ込みます。

お願い
この時点では、まだアルミ外枠をねじで固定しないでください。(ねじ固定は本体取付後)

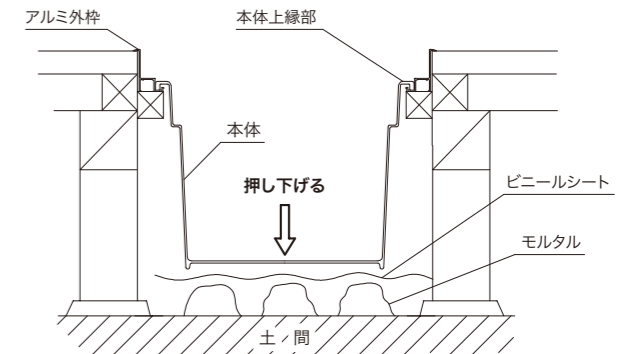


4 本体の取付

- ① 本体上縁部をアルミ外枠に正しくのせてください。本体設置の際はブロック、レンガなどで本体底部を受けてください。モルタルで受ける場合は、モルタルが直接本体底部に密着しないよう、図のようにビニールシートなどを間にしてください。

注意

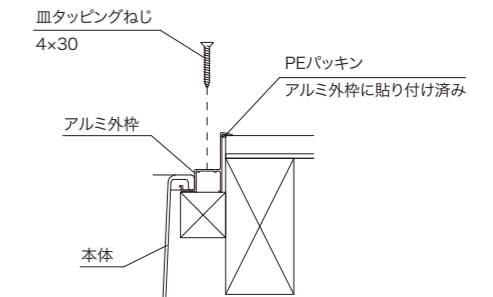
お願い
本体がアルミ外枠より浮き上がらないように、押し下げてください。浮き上がると本体のガタツキの原因になります。



- ② アルミ外枠を皿タッピングねじで補助根太に固定します。

注意

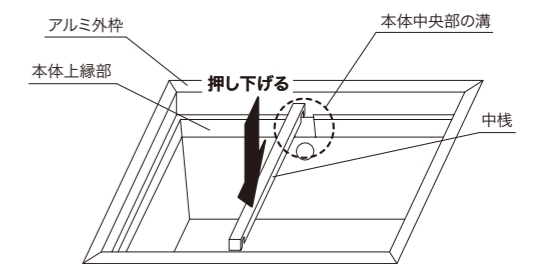
お願い
皿タッピングねじは強く締めすぎないでください。アルミ外枠が変形するおそれがあります。



- ③ 本体をアルミ枠に設置した後、本体中央部の溝に中棧をはめ込んでください。

注意

お願い
中棧が正しく設置されているか確認してください。中棧に浮きがある場合、ふたをのせた時にガタツキが発生します。



5 中蓋断熱材の取付

本体に中蓋断熱材をはめ込みます。中蓋断熱材の取手部が本体の外側を向くようにして中蓋断熱材を本体にはめ込んでください。

